

持続的生産強化対策事業のうちGAP取組・認証拡大推進交付金の事業評価票(平成31年度)

事業実施主体	区分	目標値			事業の成果	国による評価
		目標値	実績	達成度		
栃木県	I GAP指導活動の推進	1661名	1846名	111%	農協と連携した現地指導により、延べ1,846名にGAP指導を行うことができた。	成果目標を達成した。
	II GAP認証の取得拡大	25経営体	25経営体	100%	各農業振興事務所の普及計画に基づき指導を実施し、延べ25経営体のGAP認証を支援することができた。本交付金の活用により、GAP指導農業者数やGAP認証を取得した農業者等が増加し、GAPの推進に効果があった。	
群馬県	I GAP指導活動の推進	60名	75名	125%	令和2年度に成果目標達成済み。	成果目標を達成した。
	II GAP認証の取得拡大	11経営体	11経営体	100%	・GAP指導活動の推進については、GAPに精通した指導員が重点的に生産者を指導したことから、目標達成の成果を上げた。 ・GAP認証の新規取得経営体数については、目標数の認証に至るよう、計画段階から慎重に産地を選定するべきであった。 ・GAP認証の取得に至った農業者については、GAP認証取得までの過程及び認証後において、普及指導員等の指導力向上と地域の関心も高まっていることから、モデル産地としての波及効果は高いと考えられる。 ・改善計画に基づき農業者に対し、指導を行ったことにより、GLOBALG.A.P.の取得1件、JGAPの取得1件が確認され、前年度と合わせて(前年度9経営体)、新規GAP認証取得経営体は11経営体となった。 このことから、当初の目標を達成した。	
埼玉県	I GAP指導活動の推進	100名	252名	252%	令和2年度に成果目標達成済み。	GAP指導農業者数については、目標を達成している。新規認証取得経営体数については、令和2年度は、新型コロナウイルス感染症拡大の影響によるオリンピック・パラリンピック東京大会の延期や、外食需要の落ち込みにより、認証取得を目指す農業者が減少したことが目標未達成の一因と考えられる。このため、新規認証取得経営体数について、改善計画の作成・提出を求め、計画終了後に再評価を実施する。
	II GAP認証の取得拡大	7経営体	6経営体	86%	GAP認証の取得拡大については、改善計画に基づき、GAP認証取得を支援し、令和2年度の新規取得経営体数は5経営体(達成度86%)であった。令和2年度は、新型コロナウイルス感染症拡大の影響によるオリンピック・パラリンピック東京大会の延期や、外食需要の落ち込みにより、認証取得を目指す農業者が減少したことが目標未達成の一因と考えられる。また、県内のGAP取組農業者から、消費者や流通業者にGAPが知られておらず、取組んでも張合いが感じられない等の意見が寄せられていることから、GAPの認知度不足がGAP認証取得が拡大しない一因となっていると考えられる。今後は、県内量販店等でGAPを紹介する活動等を通して、消費者や流通・加工業者等のGAP認知度を向上させ、GAP認証取得者が社会的に評価される気運の醸成を図り、GAP認証の取得拡大に繋げていく。さらに、生産・出荷集団等に重点を置いてGAPの普及推進を図っていくなかで、認証取得を目指す生産者に対する支援を行う。	
千葉県	I GAP指導活動の推進	164名	112名	68%	令和2年度は新型コロナウイルス感染症の蔓延防止のため、集合研修や巡回指導を自粛する動きがあったこと、千葉県では12月以降、高病原性鳥インフルエンザの発生に伴う防疫作業の必要があったことから、GAP推進に係る活動が縮小され、GAP指導農業者数に関する目標達成に至らなかった。 GAPの取組の普及拡大に向けて、県域及び地域単位でGAP研修会を開催し、農業者へのGAPの理解促進を図るとともに、引き続き、GAP指導を行う。地域単位での集合研修と個別の巡回指導を組み合わせ、効率的なGAP指導を行い、目標達成を目指す。	GAP指導農業者数については、令和2年度は、新型コロナウイルス感染症拡大の影響による研修会等の自粛に加え、千葉県では12月以降、高病原性鳥インフルエンザの発生に伴う防疫作業に人員を取られ、また業務としてもGAP推進に係る活動が縮小されたため、目標を達成していない。新規認証取得経営体数については、目標を達成している。このため、GAP指導農業者数について、改善計画の作成・提出を求め、計画終了後に再評価を実施する。
	II GAP認証の取得拡大	10経営体	20経営体	200%	令和2年度に成果目標達成済み。	
神奈川県	I GAP指導活動の推進	80名	44名	55%	GAP指導農業者数は昨年度と変わらず44名であったが、これまでGAP推進会議、GAP研修会、GAP指導員育成研修会を通じてGAP指導体制の強化を続けてきており、農業者への指導がスムーズに行われるようになったことで、令和2年度は210人と大幅に増加しており、今後、GAP指導農業者数の増加が見込まれる。	令和2年度は新型コロナウイルス感染症拡大の影響による研修会等の自粛や開催の遅れにより指導ができず、目標が達成できなかった。このため、改善計画の作成・提出を求め、計画終了後に再評価を実施する。
	II GAP認証の取得拡大	17経営体	3経営体	18%	GAP認証の新規取得経営体数は、産地に対し国際水準GAPの実施に関する指導を行い、認証取得への意識付けを行ったが、目標の17経営体を達成できなかった。しかし、GAP現地研修会において外部専門家による指導を行った結果、農業者のGAP認証取得への意欲が高まり、令和3年度及び令和4年度に認証取得予定の農業者も出てきており、今後、認証取得経営体数の増加が見込まれる。	
長野県	I GAP指導活動の推進	77名	229名	297%	令和2年度に成果目標達成済み。	成果目標を達成した。
	II GAP認証の取得拡大	8経営体	8経営体	100%	GAP指導員による現地指導に加え、農業者やJAグループ等を対象とした研修会による指導等を行い、GAP指導員等による指導を受けてGAP認証を新規取得した経営体数は、令和元年度と合わせて8経営体となった。	